

## 第4回安佐市民病院跡地活用推進協議会議事概要

1 日 時 平成30年10月12日（金） 午前10時30分～午前12時

2 場 所 安佐市民病院 南館3階講堂

3 出席者（敬称略）

大島座長、土井委員、中平委員、西田委員、坊委員、松井委員、山本委員、岩崎委員、高森委員

4 議事要旨

(1) 「医療・福祉系等の教育機関」の誘致について

<説明要旨>

- 県内の教育機関42者を対象に調査した結果、次のとおりであった。
  - ・何らかの関心がある【1者】
  - ・分からない、又は現時点では判断できない【7者】
  - ・関心はない【34者】
- 対応方針
  - ・サウンディング調査を早期に実施しても、教育機関の正確な参画意欲を見極めることは困難であることがわかった。
  - ・教育機関の正確な参画意欲を見極め、教育機関が行う設置認可等に係る手続きに要する期間に支障が生じないように、かつ公募まであまり期間を空けないよう、当初予定していたスケジュールのとおり、平成31年度にサウンディング調査を行うこととしたい。

<主な発言>

- 跡地活用の原点として、「北の拠点」や賑わいなど、まちづくりの視点を忘れてはいけない。
- 跡地活用が5年先の話なので、教育機関も判断できないのではないか。
- 来年度、サウンディング調査を行っても、今回と同じ結果になるのではないか。
- 事業者によっては、施設整備が若干遅くなっても問題ないのではないか。
- 平成31年度からサウンディング調査を行うことで問題ないのではないか。
- 全国の教育機関が跡地への関心を高めるような方法で行って欲しい。  
（事務局）病院移転後も地域に賑わいを確保することが大前提であり、まずは、教育機関を誘致するとの方針に沿って進めていきたい。

## (2) 北館の地域開放スペースの活用について

### <説明要旨>

- 基本的な活用の方向性  
舞台等の必要最低限の設備以外は、体育館としての機能を活かすこととして、広く安佐北区民が利用できる施設とする。
- 想定される機能や具体的な活用メニュー
  - ・ホール機能（神楽の上演、コンサートの開催、その他イベントの開催）
  - ・健康増進機能（身近な体育施設としてスポーツやレクリエーションに利用）
  - ・コミュニティ機能（会議室、展示ギャラリー、事務所）
- 今後の進め方
  - ・建築の専門家による精緻な検討を行い、具体的な整備計画を作成していきたい。
  - ・整備計画の作成に当たっては、今後進める北館全体の設計や改修工事と歩調を合わせて進める必要があることから、平成31年度、若しくは今年度から整備計画の作成や設計に着手したい。

### <主な発言>

- 地域開放スペースに、防災機能として避難所の機能を付けたらどうか。
- 言語治療室横の屋上スペースについて、有効活用ができないか。
- 使い方に応じて施設の長辺、短辺のいずれにも設置できるよう、可動式のステージにしてはどうか。
- 言語治療室等を活用して、各地区の郷土史料を保管できるような場所を考えて欲しい。
- 整備計画の作成・設計に向けて、予算要求等、必要な手続きを着実に進めて欲しい。  
(事務局) いただいた御意見を踏まえ、詳細な設計を進める中で、対応可能な内容は反映していきたい。